

■関西支部だより

低温工学・超電導学会関西支部では、第37回低温工学基礎技術講習会（Web講習会）を、学生（16名）、研究機関（1名）、関係企業の若手技術者（10名）の計27名の参加を得て、2021年9月30日に開催した（日本表面真空学会関西支部、応用物理学会関西支部協賛）。講習会を開催することができ、受講者の皆様、講師の先生方、事務局、アルバイトの学生さんのご協力に心より感謝申し上げます。本講習会は、企業・大学の若手研究者や低温工学の初学者を対象として、寒剤の取扱い・低温生成・低温と安全・温度計測・低温用材料の性質・超伝導などの基礎的技術を習得していただくことを目的としている。本年度も、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）禍の中、参加者および講師の安全衛生確保の観点から例年2日間かけて行っている実習は実施せず、座学講義のみのWeb講習会（Zoom）として開催した。講義項目は以下のとおりである。

- (1) 寒剤の性質
- (2) 低温生成 —パルス管冷凍—
- (3) 低温と安全
- (4) 温度計測 —高磁場下温度計測—
- (5) 低温材料 —実学的低温材料—
- (6) 超伝導の基礎
- (7) 超伝導の応用 —電力機器、産業機器他—



図1 Web講義中の講師陣

昨年度に引き続き復習教材サービスとして、より理解を深めたい参加者を対象に本講習会の講義を録画した内容（一部の講義を除く）をオンデマンドで一週間程度配信した。加えて、講義テキストとは別に、講習会で使用した講義スライド資料集を参加者全員に配布した。昨年度のWeb講習会での受講者アンケートで、「オンラインにより場所の制約がなくなり受講し易くなった」などの意見があり、本年度は対象者を全国に広めて案内を行った。関西圏以外からも複数名ご参加いただき、昨年度の受講者数を上回るとともに、オン

ライン講習会でのメリットを感じることができた。

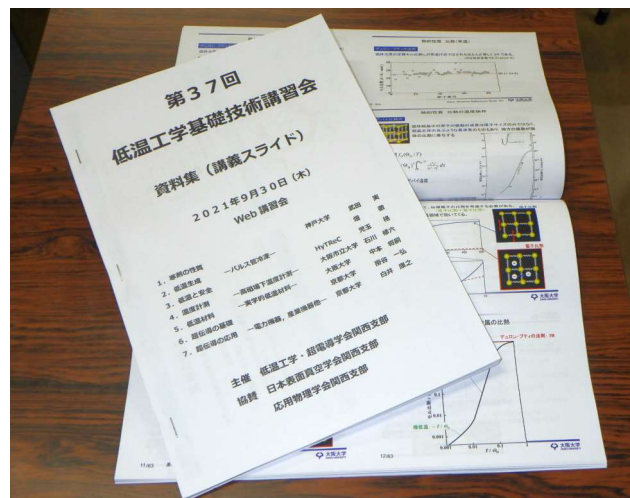


図2 講義スライド資料集

講義で興味を持っていただいた受講者からは、「装置を実際に見てみたい」、「ものを触った実験がしてみたい」との実習を希望する声も複数寄せられた。来年度は実習により低温の面白さをさらに実感していただけるよう、コロナ禍での状況が良くなっていることを期待したい。

（大阪大学 中本将嗣）